

JDLA認定プログラムとは？

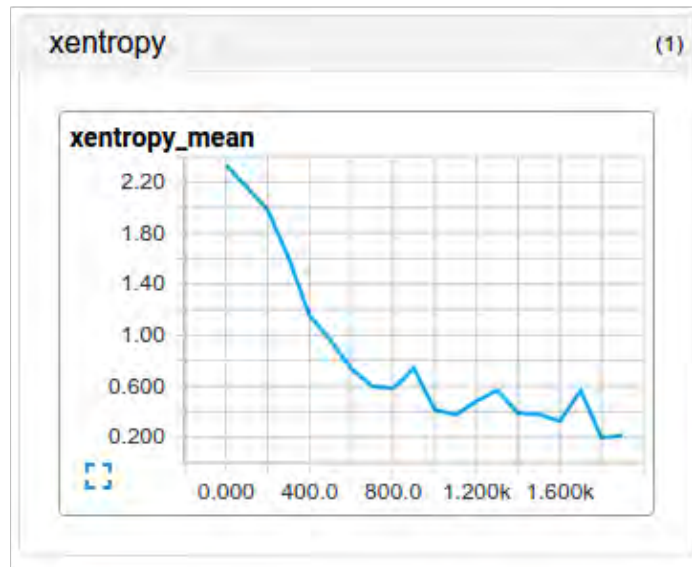
高等教育機関や民間事業者が提供する教育プログラムで、当協会が定める基準およびシラバスを満たすもの。



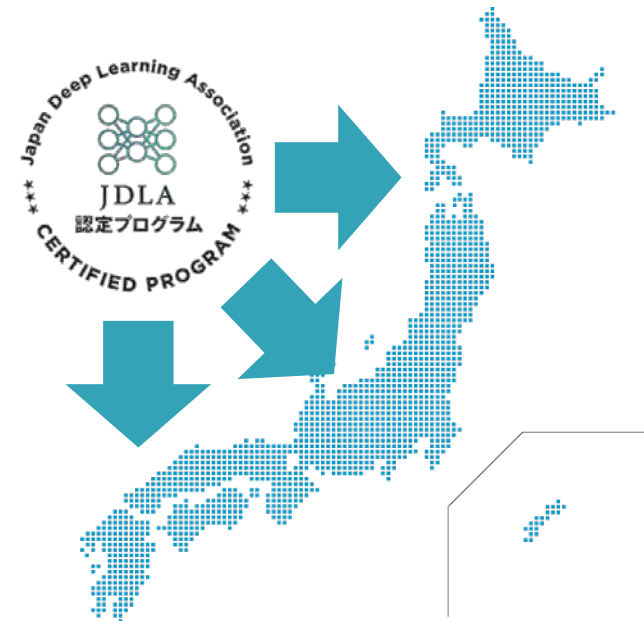
- Pythonによる実装演習を多数含む。
- 受講価格(受験費用とは別途)、期間、講座形態(オンライン/ハンズオン)、演習の題材や教え方等については各提供元により異なる。

なぜJDLA認定プログラムが必要？

学習時間や確率的要素を有する
ディープラーニングの性質上、
短時間の試験のみでエンジニアの
実力を測るのは困難。



ディープラーニングの普及にあたり、
正しい知識を持つ人材と、それを
教えられる人材の増加が不可欠。



現在のJDOLA認定プログラム 7社



やってみて分かったこと

- 大きなニーズがある。多くの人勉強したいと思っている。
- G検定を大量に受けると、社内で会話のレベルが上がる。
- 大学や高専など多くの教育機関が興味をもっている。
- 事業者間の健全な競争が起こり、進化していく。
- 激しく進展する分野であるが故に、シラバスを作り直すことの大変さと必要性。

今後の活動

- 試験の安定的な運用：増加する受講者に対応し、ミスなく実施する。
- 受験者層の拡大：学生や社会人（引退した方も含め）、地方、情報産業以外の方など、さまざまなところに広げたい。
- 教科書や書籍の整備：学習しやすい環境を作る
- 他の分野との連携：ディープラーニングはそれぞれの産業領域との融合でこそ価値が生まれる。他分野と融合した教育。
- 合格者のコミュニティづくり：多くの人が孤独に戦って苦勞しており、仲間を欲しがっている。
- 事業における道筋の提示：事例づくり、ビジネス活用の体系化

書籍の紹介

EXAMPRESS® ディープラーニング検定試験学習書

JDLA
Deep Learning for GENERAL

深層学習
教科書

ディープラーニング G検定 公式テキスト

ジェネラリスト

これからの時代に必須の
新資格「G検定」の対策書!

- ☑ 試験を知り尽くした著者陣による執筆!
- ☑ 練習問題つきなので、試験勉強に最適!
- ☑ 「JDLA Deep Learning for GENERAL 2018」に完全準拠!

SE
SHOENSA

一般社団法人日本ディープラーニング協会監修
浅川伸一、江間有沙、工藤都子、柴藤悠輝、
瀬谷啓介、松井幸之、松尾雄志

日経クロストレンド 監修
日本ディープラーニング協会 監修

A I の未来
挑 戦 から 読 む
先 進 社 の

ディープ ラーニング

活用の教科書

AIは研究から実用フェーズへ

驚異の活用法が国内でも続々!

カツ丼の盛り付けを判定、泳ぐマグロの数を数える、クリーニング衣類を判別、道路下の空洞を探る、河川の護岸の傷判定、送電線の異常検知、タクシーの乗客予測、テレビCMの効果を予測、お弁当の盛り付け、文章の校閲、重機で自動掘削、白黒映像の色付け、仮想アイドル画像の生成、プロ並みアナウンサー、人の話し方をまねる……

発展ロードマップでAI活用の未来が見える
業務プロセスの分解でAI導入の勘所が分かる

日経BP社

まとめ

- 苦勞しながら、短期間にここまでやってきた。
- 今後も10万人目指して頑張る。
- 世界でもDLを資格試験にしているのは日本だけ。日本なら
では。
- ぜひこの資格試験をベースにしたさまざまな施策（企業支援や教育機関の支援、地方自治体の支援等）につなげていただきたい。

END